

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)レーベン東川口Ⅳ 新築工事	階数	地上12F
建設地	埼玉県川口市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	90 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,640 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2025年3月31日
敷地面積	662 m ²	作成者	株式会社インター・プロデューサー級建築士事務所 澤村 正人
建築面積	309 m ²	確認日	2025年3月31日
延床面積	2,771 m ²	確認者	株式会社インター・プロデューサー級建築士事務所 澤村 正人



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 77%

③上記+②以外の 77%

④上記+ 77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
CO ₂ 排出率を低減するために努力している。	特になし。	
Q1 室内環境 バルコニーとカーテンボックスを設けること、F☆☆☆☆のものを使用することで、居室の環境を配慮している。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い建材、配管材を使用することで、建物の長寿命化を配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 一次エネルギー消費基準を達成することで、建物の低炭素化を配慮している。	LR2 資源・マテリアル 仕上げ材の下地に軽鋼骨を使用することで、資源の再利用性を配慮している。	LR3 敷地外環境 広告物照明を使用していない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)レーベン東川口Ⅳ 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
Q 建築物の環境品質									3.3
Q1 室内環境			0.40		-				3.6
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00				3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50				
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50				
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30				
2 界壁遮音性能			-	3.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20				
1.3 吸音			-		-				
2 温熱環境		3.0	0.35	4.0	1.00				3.8
2.1 室温制御		3.0	0.50	4.0	1.00				
1 室温		3.0	0.63	-	-				
2 外皮性能	省エネルギー対策等級4である	3.0	0.38	4.0	1.00				
3 ゾーン別制御性			-		-				
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-				
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-				
3 光・視環境		3.0	0.25	3.7	1.00				3.6
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.5	0.50				
1 昼光率	15%以上である	3.0	0.60	4.0	0.50				
2 方位別開口			-	3.0	0.30				
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20				
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.50				
1 昼光制御	バルコニーとカーテンボックスを設ける	3.0	1.00	4.0	1.00				
3.3 照度		3.0	0.15	-	-				
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-				
4 空気質環境		3.6	0.25	3.6	1.00				3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63				
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆のものを使用する	4.0	1.00	4.0	1.00				
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38				
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33				
2 自然換気性能			-	3.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33				
4.3 運用管理			-		-				
1 CO ₂ の監視			-		-				
2 喫煙の制御			-		-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-				3.2
1 機能性		2.5	0.40	3.8	1.00				3.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60				
1 広さ・収納性			-		-				
2 高度情報通信設備対応	光回線である		-	5.0	1.00				
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-				
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40				
1 広さ感・景観			-	3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース			-		-				
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50				
1.3 維持管理		3.5	0.30		-				
1 維持管理に配慮した設計	維持管理しやすい内装・外装材を使用する	4.0	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-				
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30	-	-				3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		4.2	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3である	5.0	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	30年以上である	5.0	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	2種類以上に等級Bを使用、Eは不使用	5.0	0.20		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-				
2.4 信頼性		2.2	0.20		-				
1 空調・換気設備		1.0	0.20		-				
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20		-				
3 電気設備		3.0	0.20		-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-				
5 通信・情報設備		2.0	0.20		-				

3 対応性・更新性		3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	3.0	0.50	
1 階高のゆとり			-	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00		-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-		-	3.4
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー対策等級4である	4.0	0.20		-	4.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.81	5.0	0.50		-	5.0
4 効率的運用		3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			-		-	
4.1 モニタリング			-		-	
4.2 運用管理体制			-		-	
集合住宅の評価		3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護		2.2	0.20		-	2.2
1.1 節水		1.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.7	0.60		-	2.7
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	仕上げ材の下地に軽量鉄骨を使用する	4.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70		-	
1 消火剤		-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3 冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮	CO2排出率:77%	3.9	0.33		-	3.9
2 地域環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1 騒音		3.0	1.00		-	
2 振動		-	-		-	
3 悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制			-		-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制		3.7	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策チェックリストは一部達成、広告物照明は不使用	4.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)レーベン東川口Ⅳ 新築工	BEE	1.5	BEEランク	★★★★
------	------------------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.9	+	3.0	=	6.9	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.9
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.9
一次エネルギー消費基準を達成することで、建物の低炭素化を配慮している。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
緑地スペースを確保している。			

:入力欄